令和７年度中の進行管理チェック票

推進部署	
地域振興課	広報統計係 （内線　254　）

項目番号	1	実施項目	SNSを活用した情報発信の充実
７年度計画の内容		・他市町村の活用事例研究 ・本町の活用方法の検討・実施 ・友だち登録者を増やすための活動 ・ガイドラインの見直し 【年間70件以上の情報配信】 【友だち登録者3,300人】	
７年度の取り組み内容と評価、分析		・町公式LINEで、随時、行政情報やイベント情報の配信、迅速な防災・気象情報の配信に努めた。 ・広報紙で、毎月、町公式LINEの友だち登録の募集を行った。 ・町公式LINEの便利機能として、セグメント配信機能（防災・防犯、イベント、子育て、健康・福祉、講座・セミナー、お知らせの６つのカテゴリーのうち、受け取りたい情報の種類をあらかじめ設定する機能）や、ごみの出し方の検索方法について、広報紙で紹介した。 【年間情報配信134件】 【年度末友だち登録者2,083人】	
		該当する箇所に〇をつけてください。 a　計画どおりに実施　　(b) やや遅れ気味　　c　未着手	
		bまたはｃの理由 町公式LINEで必要な情報の配信に努めた結果、情報配信件数については目標を大幅に上回ったが、友だち登録者については、広報紙などで登録の案内を行った効果もあって昨年度より増加はしているものの、目標達成には至らなかった。	
推進部署の課長の所見		７年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 町公式LINEは、平時の行政情報やイベント情報の配信のほか、自然災害による避難所情報など、緊急時における有効なプッシュ型の情報配信媒体であることから、引き続き、広報紙での友だち募集のほか、危機管理室と連携し町防災訓練や自主防災組織への啓発活動時に周知を図る。	
７年度の実施による	削減額	千円　うち一般財源　千円	
	増収額	千円　うち一般財源　千円	
	新たな支出額	千円　うち一般財源　千円	

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和7年度中の進行管理チェック票

推進部署	
企画財政課	企画政策係 （内線　231　）

項目番号	2	実施項目	デリバリーとべ(出張出前講座)の開催
7年度計画の内容		・講座メニューの検証 【出張出前講座の開催（年１回以上）】	
7年度の取り組み内容と評価、分析		令和5年度および6年度からの課題であった事業ニーズの把握について、令和7年度は社会教育課の「キラまち事業」と合同で各行政区を対象にニーズ調査を実施した。結果として、「利用したい（どちらかといえばを含む）」が27%、「どちらともいえない」が51%、「利用したいと思わない（同）」が19%（無回答2%）となった。 一定の潜在的ニーズは確認できたものの、講座開催に至っていない要因として、受動的な「申込方式」という現行の実施体制が、住民にとって利用のハードルになっていると分析している。	
		該当する箇所に〇をつけてください。 a　計画どおりに実施　　(b) やや遅れ気味　　c　未着手	
		bまたはｃの理由 講座の開催に至っていないため。	
推進部署の課長の所見		7年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 当事業は町・住民・自治会の三者が連携して地域課題の解決に取り組むことを目的としていたが、過去2年間の推移と本年度の調査結果から、現行の実施体制では住民のニーズを十分に汲み取れないと判断し、目的達成のための手法を抜本的に見直した。 令和8年度以降は従来の「申込方式」を改め、幅広く意見交換を行える「タウンミーティング」や「座談会」形式へと移行し、より実効性の高い協働のまちづくり体制を構築していく必要がある。	
7年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源　千円
	増収額	千円	うち一般財源　千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源　千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和７年度中の進行管理チェック票

推進部署	
社会教育課	社会教育係 （内線　712）

項目番号	３	実施項目	キラまち事業の推進
７年度計画の内容		地域コミュニティの醸成のために、キラまち事業の周知に努め、講師や技術的なアドバイザーの派遣等を行うなど、区や団体等が充実した活動ができるように支援する。 ・人材バンクの整理及び情報提供を行い、事業実施につなげる。 【実施件数 １件以上】	
７年度の取り組み内容と評価、分析		区長会や分館長会で事業活用の案内の配布を行ったが、事業の実施には至らなかった。 企画財政課で実施している「出張出前講座」と合同でアンケート形式によるニーズ調査を実施し、今後の事業の方向性を検討した。	
		該当する箇所に〇をつけてください。 a　計画どおりに実施　(b) やや遅れ気味　c　未着手	
		ｂまたはｃの理由 事業活用の案内を行ったが、実績が伴わなかったため。	
推進部署の課長の所見		７年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 ニーズ調査から、「利用したい」「どちらかといえば利用したい」と回答した区は２割程度存在するが、具体的な計画を立てるまでには至っていないことが分かった。今後は、利用について前向きな回答をした区を中心に、個別に聞き取り調査等を行い、自主的な活動につながるように働きかけていく必要がある。	
７年度の実施による	削減額	千円　うち一般財源	千円
	増収額	千円　うち一般財源	千円
	新たな支出額	千円　うち一般財源	千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和７年度中の進行管理チェック票

推進部署	
町民課 上下水道課	環境衛生係　（内線521） 下水道管理係　（内線563）

項目番号	4	実施項目	効果的な汚水処理施設整備の推進
７年度計画の内容		・下水道全体計画区域外における単独処理浄化槽及び汲み取り式トイレの使用者へ、浄化槽設置整備事業補助金制度の周知を行い、重点的に合併処理浄化槽への転換を促進する。 ・公共下水道事業計画区域内の整備【※年度別計画には未記載】 【汚水処理人口普及率82.5%】	
７年度の取り組み内容と評価、分析		・浄化槽設置整備補助金制度について周知を図るため、広報紙への掲載や対象世帯に対してダイレクトに案内チラシを送付した。くみ取り槽や単独処理浄化槽であっても、宅内が簡易水洗化されている場合は不便さが感じられにくいため、転換に対する意識が薄い傾向にあるが、水質汚濁防止の観点から引き続き積極的な転換促進を図る必要がある。 ・公共下水道は、整備区域の見直しを行い、令和12年度の整備完了を目標とし、市街化区域及び市街化調整区域の約200.3ha、計画人口7,670人（令和12年度推計値）の区域整備を実施しており、R7年度末で処理区域内人口7,759人(R7年度末人口)、約151haの整備を完了した。 【令和7年度末時点の汚水処理人口普及率　82.0%】	
		該当する箇所に〇をつけてください。 a　計画どおりに実施　　(b) やや遅れ気味　　c　未着手	
		bまたはｃの理由 ・当該区域は市街化区域と比べて農地等が多く住宅密集度が低いため、1工事あたりの整備人口が少なく、成果指標である汚水処理人口普及率の目標値達成に若干の影響があった。 ・公共下水道整備の主な整備区域が市街化区域から市街化調整区域へ移行しているため、市街化区域と比べ住宅密集度が低く、整備対象人口が少ないこと。また、整備事業費（社総金）の減少により当該年度の整備区域が減少したことにより成果指標である汚水処理人口普及率の目標数値の達成に若干の影響があったものと考える。	
推進部署の課長の所見		７年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 ・公共下水道整備は、財源として社会資本整備総合交付金（未普及対策）を活用しているが、全国的な下水道施設の改築・更新対策費用の増加等により、未普及対策への交付額が減少しており、本町の整備の進捗に遅れが生じている状況である。財源が厳しい中ではあるが、コスト縮減等を図り、今後も整備推進を実施していく方針だが、全体計画では市街化区域外約70haの整備も残っていることから、整備手法等も含め、本町の汚水処理整備計画についての更なる精査が必要である。	
７年度の実施による	削減額	千円　うち一般財源　千円	
	増収額	千円　うち一般財源　千円	
	新たな支出額	千円　うち一般財源　千円	

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和７年度中の進行管理チェック票

推進部署	
町民課	環境衛生係　（内線５２１） 資源循環推進係　（内線５２２）

項目番号	５	実施項目	自然環境保全活動及び循環型社会の推進
７年度計画の内容		・環境啓発イベント及び効果検証の実施 ・各補助金交付事業の効果検証の実施 ・必要に応じた各実施事業における計画の見直し 【ごみ排出量(5,140t)、資源化率(23.9%)】	
７年度の取り組み内容と評価、分析		・環境学習機会の提供として各小学校と連携し動物愛護や地球温暖化などの身近にとりまく環境を題材に出前講座を実施した。先生からの意見や要望、参加者アンケートの内容を踏まえた効果検証を実施し、次年度へ向けた内容の充実を図るためテーマの絞り込みを行った。 ・地球温暖化防止啓発のため、松山圏域連携中枢都市圏合同イベントの環境フェアをアイテムえひめで2日間（5,395人）開催した。担当者会にて効果検証を実施し、次回の開催計画の準備を行った。 ・一般廃棄物の減量化と資源化の推進を目的とし以下の補助事業を実施した。 １号事業・・・電気式生ごみ処理機10件（計177,500円）、生ごみ処理容器2件（5,100円） ２号事業・・・ごみ集積場所整備数6件（193,400円） ３号事業・・・資源化促進事業実施団体の行った資源ごみ回収により、32,045kgのごみを資源化（128,180円） ４号事業・・・小・中学校のPTAが行った資源ごみ回収により、27,300kgのごみを資源化（109,200円） 令和7年度のごみ排出量は5,087ｔ、資源化率24.0%となっており、循環型社会の形成に着実に取り組むことができているが、引き続き効果検証を実施し、必要に応じた計画の見直しを図る。	
		該当する箇所に〇をつけてください。 (a)　計画どおりに実施　　b　やや遅れ気味　　c　未着手	
		ｂまたはｃの理由	
推進部署の課長の所見		７年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 学校教育における学習機会の提供として出前講座を開催し、テーマを絞った取り組みを行うことで、環境保全活動を推進できた。 ごみ排出量・資源化率ともに目標を上回っており、順調に取組が進んでいる。継続して事業に取組み、さらなる向上を図る。	
７年度の実施による	削減額	千円　　うち一般財源　　千円	
	増収額	千円　　うち一般財源　　千円	
	新たな支出額	千円　　うち一般財源　　千円	

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和７年度中の進行管理チェック票

推進部署	
農林課	林業振興係 （内線292）

項目番号	６	実施項目	木育事業を組み合わせた林業振興
７年度計画の内容		・木のおもちゃを出生数約100人分制作し、ウッドスタート宣言を行い、配布する。 ・子ども向けの木育事業としてワークショップを実施する。	
７年度の取り組み内容と評価、分析			
		該当する箇所に〇をつけてください。 ａ　計画どおりに実施　　ｂ　やや遅れ気味　　〇 ｃ　未着手	
		ｂまたはｃの理由 事例研究を行った結果、ウッドスタートの活動には多額の費用が見込まれるが、財源とする森林環境譲与税は、間伐等の森林整備費用に充てることを優先するため、本事業の実施を見送った。	
推進部署の課長の所見		７年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 事例研究の結果を踏まえ、限られた財源である森林環境譲与税は、より喫緊の課題である間伐等の基盤的な森林整備へ集中的に充当することが最適であると判断した。今後は本事業の枠組みにとらわれず、本町の持続可能な林業振興に向けた優先度の高い施策へと取り組みを集中していく。	
７年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源　千円
	増収額	千円	うち一般財源　千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源　千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和７年度中の進行管理チェック票

推進部署	
総務課	人事係 （内線　212）

項目番号	７	実施項目	職員の勤怠管理による人件費等の削減
７年度計画の内容		勤怠管理システム導入に関して公募型プロポーザルによる業者選定を行い、運用開始に向けてデータ登録や職員向け操作研修を実施する。	
７年度の取り組み内容と評価、分析		勤怠管理システムの導入に向けて調査研究を行ったものの、費用対効果を見込めないことから、令和７年度補正予算及び令和８年度当初予算へ計上することができなかった。引き続き、勤怠管理システムのデモ実施による検討や資料収集など、システム導入に向けての調査研究を行った。引き続き導入に向けた調査研究を進めるとともに、人事給与や労務管理など関連するシステムの導入も視野に入れ、検討を進める。	
		該当する箇所に〇をつけてください。 a　計画どおりに実施　　(b) やや遅れ気味　　c　未着手	
		ｂまたはｃの理由 導入に向けての調査研究は行うことができたが、予算化に至らなかったため。	
推進部署の課長の所見		７年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 これまで、システム導入による一定の効果は見込めるが費用対効果は小さく施策の優先順位は低いと判断してきたが、人事制度の改革を推進していくにあたり、人事情報のシステムにおける一元管理は今後必須である。 勤怠管理にとらわれることなく、新たな人事給与システムや労務管理システムの導入も先行して進める。	
７年度の実施による	削減額	千円　うち一般財源　千円	
	増収額	千円　うち一般財源　千円	
	新たな支出額	千円　うち一般財源　千円	

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和7年度中の進行管理チェック票

推進部署	
企画財政課	情報化推進係 （内線231）

項目番号	8	実施項目	キャッシュレス決済の推進
7年度計画の内容		・利用者の拡大を図るとともにキャッシュレス決済種別の拡大を検討する。 ・キャッシュレス化の対象手続き及び施設の拡大を目指し、継続して、協議・調整を図る。	
7年度の取り組み内容と評価、分析		利用者の拡大と支払い方法の多様化を目的に、介護保険料及び後期高齢者医療保険料について、令和8年9月から、二次元バーコードにて支払いができるよう調整を行った。 また、保育所・こども園・幼稚園で現金徴収していた延長保育料等について、保育業務支援システムを活用したキャッシュレス決済を導入し、キャッシュレス化の対象手続きの拡大を図った。	
		該当する箇所に〇をつけてください。 ⓐ 計画どおりに実施　　b　やや遅れ気味　　c　未着手	
		bまたはcの理由	
推進部署の課長の所見		7年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 当初計画していた内容どおり、順調に進捗していることは評価できる。ただし、庁舎内で見ると、徐々に横展開しているものの、その他の使用料・手数料においても、キャッシュレス化を進める余地は残されていることから、住民の利便性から鑑みると、他の窓口での利活用を検討していく必要がある。	
7年度の実施による	削減額	千円　うち一般財源	千円
	増収額	千円　うち一般財源	千円
	新たな支出額	千円　うち一般財源	千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和７年度中の進行管理チェック票

推進部署	
学校教育課	学校教育係 （内線702）

項目番号	９	実施項目	教育におけるデジタル化の推進
７年度計画の内容		町内小・中学校サポートルーム利用者のうち希望する者には授業のライブ配信を行えるよう、環境を整える。 20時限以上実施されること。	
７年度の取り組み内容と評価、分析		遠隔授業が行える環境は、各校において整備済みである。 遠隔授業実施時限数は以下のとおり。 麻生小：８時限　（令和６年度　11時限） 宮内小：9時限　（令和６年度　0時限） 砥部小：６時限　（令和６年度　10時限） 広田小：１時限　（令和６年度　0時限） 砥部中：69時限　（令和６年度　75時限）	
		該当する箇所に〇をつけてください。 ａ 計画どおりに実施　　ｂ　やや遅れ気味　　ｃ　未着手	
		ｂまたはｃの理由	
推進部署の課長の所見		７年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 対象となる児童生徒の有無や人数によって、各学校の実施に差はあるが、他校と取り組みについて共有ができており、全学校で取り組めた。	
７年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源　千円
	増収額	千円	うち一般財源　千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源　千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和７年度中の進行管理チェック票

推進部署	
建設課	都市計画係 （内線274）

項目番号	10	実施項目	都市構造の見直し
７年度計画の内容		・都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の策定 【都市計画審議会の実施3 回】	
７年度の取り組み内容と評価、分析		・首長への都市計画の概要説明と今後の進め方などの方向性の確認 ・計画策定の取組着手の対外的公表（議会対応等） ・関係予算の要望（都市計画基本図更新・3D都市モデル構築事業） ・組織体制の見直しと専門職員の配置（都市計画係の新設、県職員派遣）	
		該当する箇所に〇をつけてください。 a　計画どおりに実施　　(b) やや遅れ気味　　c　未着手	
		ｂまたはｃの理由 新しい首長となり、庁内及び首長との合意形成の不足や都市計画に取り組むための前提となる推進体制の構築の遅延などにより、計画目標の達成にはいたらなかったが、これらを解消するための取り組みを行えたことは、補助金の活用や組織体制等を構築する機会となった。また、次期以降に最小のコストでより精度の高い計画を策定するための土台を整えることができたことは、今回の停滞を前向きな準備期間であったものと分析する。	
推進部署の課長の所見		７年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 目標を達成できなかったことは事実であるが、課題の洗い出しや整理等を行い、結果としては貴重な精査期間を得ることができたと考える。今後は、実効性の高い計画の策定に向け、スピード感をもって取り組んでまいりたい。	
７年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源　千円
	増収額	千円	うち一般財源　千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源　千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和７年度中の進行管理チェック票

推進部署	
保険健康課、介護福祉課	保険年金係、健康増進係、地域包括支援センター係

項目番号	11	実施項目	高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施
7年度計画の内容		①フレイル該当者の２年後の介護給付費の削減2,287万円（R5-7） ②R７年度フレイル該当者への保健・栄養指導の実施（実施率95%） ③R６年度低栄養該当者への介入によるBMIの維持・改善（改善率70%） ※R７年度値で評価、改善率を算出 ④R６年度糖尿病性腎症重症化予防事業対象者への介入によるHbA1c値の維持・改善（改善率70%）※R７年度値で評価、改善率を算出	
7年度の取り組み内容と評価、分析		①フレイル該当者の２年後の介護給付費の削減2,048万円（R5-7） ・R5年度フレイル該当者84人中、R7年度フレイル重症化回避者67人 ②R７年度フレイル該当者への保健・栄養指導の実施（実施率97.5%） ・ＫＤＢ（国保データベース）システムで過去１年間レセプト・健診情報がなく、施設入所等でない者７人、民生委員の独居高齢者訪問時の基本チェックリストによりフレイル該当者となったＲ７年度対象者173人、R6年度対象者25人、R5年度対象者38人 ③低栄養防止事業は8人に対し実施し、２人が維持（改善率25.0%） ④健診受診者で、HbAlc7.0%以上の未治療者7人に対し、糖尿病性腎症重症化予防訪問を実施し、１人の維持が確認できた（改善率14.3%）	
		該当する箇所に〇をつけてください。 a　計画どおりに実施　(b) やや遅れ気味　c　未着手	
		ｂまたはｃの理由 ①フレイル該当者の中でフレイル重症化回避者を74人を見込んでいたが、実際は67人と少なかったため。 ③④死亡者や健診未受診者がいたため、評価が難しかった。	
推進部署の課長の所見		７年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 事業として、担当者は真摯に取り組んでいるが、相手あってのことなので、事業の必要性を理解して協力的に取り組んでいただくのが難しい現実がある。 ①については、見込みの数値を高めに設定していたため目標をクリアできていないが、それでもほぼ目標に近い金額が削減できている。 ③④は、評価をするためには健診を受け数値を出す必要があるが、受診はもとより訪問の受け入れさえもハードルが高く評価ができ難い。 総じて目標の数値には達していないが、取組により事業の目的は達成していると評価したい。	
7年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源　千円
	増収額	千円	うち一般財源　千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源　千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和７年度中の進行管理チェック票

推進部署	
学校教育課	学校教育係 （内線702）

項目番号	12	実施項目	部活動地域移行の推進
７年度計画の内容		休日の活動を希望する生徒の受入団体等の確保	
７年度の取り組み内容と評価、分析		地域部活動検討委員会の協議を経て、推進計画の策定をした。 また、バドミントンの地域展開について取り組みを開始した。 次年度以降は検討委員会を推進委員会に再編し、受入団体の確保に向けてより具体的な内容を協議する。	
		該当する箇所に〇をつけてください。 a　計画どおりに実施　　(b) やや遅れ気味　　c　未着手	
		ｂまたはｃの理由 バドミントンについては試験的な面が強く、支援体制等を確立できていない。 他種目の活動においても受入団体の確保を進め、活動の選択肢を広げる必要がある。	
推進部署の課長の所見		７年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 検討委員会において、基本方針として、休日における部活動については段階的に廃止することを確認した。 次年度以降は、さらなる受入団体の確保に向け、クラブ認定基準の設定や支援体制の構築等を進める。	
７年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源　千円
	増収額	千円	うち一般財源　千円
	新たな支出額	９０千円	うち一般財源　９０千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和７年度中の進行管理チェック票

推進部署	
子育て支援課	保育幼稚園係 （内線722）

項目番号	13	実施項目	民間主導による公共サービスの提供
７年度計画の内容		・公共施設の民間委託等の検討 ・巡回相談を民間施設でも実施することで、発達障がい等の早期発見に努める。 ・虐待がないかなども含めて地域の団体等(区長、民生委員、要保護児童対策地域協議会)との情報交換会を開催することで連携を深める。 【情報交換会等開催 年2 回以上】	
７年度の取り組み内容と評価、分析		・公共施設の民間委託等について検討した ・他課事業（巡回相談）ではあるが、当日の関係者協議に子育て支援課からも職員が参加することで、家庭環境・こどもの発育発達の成長理解を深めた。 ・要保護児童対策地域協議会の実務者会議（年２回開催）には、町立に限らず私立保育施設等にも出席を依頼することで、連携体制を構築した。	
		該当する箇所に〇をつけてください。 ａ（〇）計画どおりに実施　　ｂ　やや遅れ気味　　ｃ　未着手	
		ｂまたはｃの理由	
推進部署の課長の所見		７年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 計画どおり進行管理できており、引き続き民間委託の検討や巡回相談の実施、民間施設・地域団体との連携深化によるサービス向上に努める。	
７年度の実施による	削減額	128,161千円	うち一般財源　115,872千円
	増収額	千円	うち一般財源　千円
	新たな支出額	193,557千円	うち一般財源　48,390千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和７年度中の進行管理チェック票

推進部署	
社会教育課	文化スポーツ係 （内線７１４）

項目番号	14	実施項目	施設利用予約システムの導入
７年度計画の内容		・利用者への普及、利用促進 ・課題抽出及びシステム業者との協議による利便性向上 【施設利用者のシステム利用率90%】	
７年度の取り組み内容と評価、分析		利用率については各施設によって差があるものの、平均して62.1%となり、昨年度と比べ12.1%上昇した。これは、申請窓口で予約システムの機能や操作手順を実際に操作しながらレクチャーする等の対応を行った成果と考えられる。また、時間や場所を問わないシステム構築や多様な決済手段の導入により、利用者アンケートでは5段階評価で満足度4.19と高い評価を得ることができた。 一方で、利用頻度の高い団体のシステム移行は概ね完了しているものの、初回利用者やライトユーザーに対するシステムの周知不足、操作性の難しさなどが課題として残っており、これが全体の利用率（目標80%）に届かなかった一因となっている。今後は、さらなる利便性の向上に向けたシステム業者との協議に加え、ホームページやチラシ等を用いた積極的な周知広報に注力していく必要がある。	
		該当する箇所に〇をつけてください。 a　計画どおりに実施　(b) やや遅れ気味　c　未着手	
		bまたはｃの理由 窓口でのレクチャー等により利用率は増加傾向にあるものの、初回利用の方やライトユーザーへのシステム導入に関する周知が不足しており、対象ユーザーへの認知が十分に広がりきらなかったため。また、一部のユーザーにとっては操作性に難しさを感じる場面があり、既存の申請方法からの完全な移行を促すに至っていないため。	
推進部署の課長の所見		７年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 窓口でのレクチャー等による丁寧なサポートや決済手段の多様化により、利用者満足度4.19という高い評価を得たことは担当者の努力の成果として評価する。一方で、利用率が目標の90%に対し62.1%にとどまった点については、システム移行のメリットを感じにくい初回利用者やライトユーザーへの周知・定着に課題が残る。今後はユーザーの声を活用し、システム業者と連携した操作性の改善や、ターゲット層に応じた効果的な周知広報を継続・強化し、更なる住民サービスの向上と目標達成に努める必要がある。	
７年度の実施による	削減額	千円　うち一般財源	千円
	増収額	千円　うち一般財源	千円
	新たな支出額	858千円　うち一般財源	858千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和7年度中の進行管理チェック票

推進部署	
企画財政課	企画政策係 （内線　231　）

項目番号	15	実施項目	SDGｓの推進
7年度計画の内容		・地域課題解決のためのモデル事業の実施 【ＳＤＧｓに関係した研修の実施（1 回以上）】	
7年度の取り組み内容と評価、分析		当初、地域課題解決のためのモデル事業の実施およびSDGsに関係した研修の実施を計画していたが、目標としていた内閣府の「自治体SDGsモデル事業」が令和6年度をもって終了したことに伴い、本年度における新たな研修等の実施は見送ることとなった。	
		該当する箇所に〇をつけてください。 a　計画どおりに実施　(b) やや遅れ気味　c　未着手	
		bまたはｃの理由 国のモデル事業終了に伴い、計画していたSDGsに関係した研修等が実施できなかったため。	
推進部署の課長の所見		7年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 本取り組みは、内閣府の「自治体SDGsモデル事業」への応募を念頭に進めていたが、同事業の終了により当初の計画通りの推進が困難となった。世界的な施策でもあるSDGs推進は継続して進めていく必要があるため、町の他の重要施策と連携をとりながら砥部町としての方向性を改めて検討していく必要があると考える。	
7年度の実施による	削減額	千円　うち一般財源　千円	
	増収額	千円　うち一般財源　千円	
	新たな支出額	千円　うち一般財源　千円	

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和７年度中の進行管理チェック票

推進部署	
地域振興課	広報統計係 （内線　254　）

項目番号	16	実施項目	AIチャットボットの導入
７年度計画の内容		・QAやFAQを随時更新する。 【ホームページアクセス数1,720,000件】	
７年度の取り組み内容と評価、分析		AIチャットボットについては、利用が拡大し、ホームページ利用者の利便性が向上することで、職員の負担軽減、業務効率の向上が期待できるものと考えているが、まだまだ認知度が低いこともあり、利用回数が令和７年度は年間3,509回と低調で、ホームページアクセス数の伸び悩みの一因となっていると考えられる。今後、AIチャットボットの認知度向上、利用促進のため、広報紙等での周知に努める。 【令和７年度実績　ホームページアクセス数1,119,450件】	
		該当する箇所に〇をつけてください。 a　計画どおりに実施　　(b) やや遅れ気味　　c　未着手	
		ｂまたはｃの理由 ホームページアクセス数は昨年度とほぼ同じで、AIチャットボットの認知度がまだまだ低いこともあり、期待された導入による効果が得られていないことから、「やや遅れ気味」の評価とした。	
推進部署の課長の所見		７年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 本町ホームページのAIチャットボットは、生成AIではないため学習機能がなく、ニーズに合わせたＱ＆Ａの作成が重要であることから、現在のＱＡデータの精査と検索ニーズの検証に取り組む。	
７年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源　千円
	増収額	千円	うち一般財源　千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源　千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和７年度中の進行管理チェック票

推進部署	
総務課	総務管理係　（内線213）

項目番号	17	実施項目	組織・機構の整備
７年度計画の内容		令和６年度の課の再編に伴う効果検証を行うとともに、令和７年度も引き続きヒアリングを実施し、効果的な組織の在り方について、継続的に検討する。	
７年度の取り組み内容と評価、分析		令和７年度も引き続きヒアリングを実施し、令和８年度に効率的な業務執行のため、係の再編を行った。 【見直し内容】 保険健康課…保険年金係を福祉医療年金係と医療保険係に分割 子育て支援課…子育て支援センター係をこども家庭センター係へ変更 建設課…農林土木係を農林課へ移管し、都市計画係を新設 農林課…建設課から農林土木係を移管	
		該当する箇所に〇をつけてください。 （a）計画どおりに実施　　b　やや遅れ気味　　c　未着手	
		bまたはｃの理由	
推進部署の課長の所見		７年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 その他臨時的業務（選挙、給付金等）を除いた一般会計において、時間外勤務手当の額が26.26%減少しており、町誌編さん等による要因はあるものの、継続的なヒアリングによる人員配置の見直し等の効果であると考えられる。 今後においても、引き続き効果的な組織の在り方について、検証・検討するとともに、継続的に見直しを行う。 【財務会計システムから抽出】 令和6年度：30,354,986円 令和7年度：22,382,893円（前年度比：△7,972,093円）	
７年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源　7,972千円
	増収額	千円	うち一般財源　千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源　千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和７年度中の進行管理チェック票

推進部署	
建設課	管理係　（内線274）

項目番号	18	実施項目	建築に係る組織の立ち上げ
７年度計画の内容		・建築職の技師の採用の検討、建築住宅係（仮称）の新設	
７年度の取り組み内容と評価、分析		なし	
		該当する箇所に〇をつけてください。 a　計画どおりに実施　　b　やや遅れ気味　　(c)　未着手	
		ｂまたはｃの理由 都市計画の推進に向けた組織体制の見直しについては実施できたものの、建築に関する具体的な係の新設にはいたっていない。また、建築技師の採用についても、人事担当との調整等を図ることができなかった。一方では、財産担当部局が中心となって、公共施設の在り方に関する議論が始まったことは、専門人材の確保や組織の設置に関し、その必要性や大義名分が明確になりつつあるのではないかと分析する。	
推進部署の課長の所見		７年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 本町のような小規模自治体にとって、技術専門職員の採用難と限られた財源は致命的であり、これまで全庁的な営繕組織の構築のための議論について踏み込めなかった実態がある。しかし、施設の老朽化や物価高騰が進む中で、専門知識のない職員が個別に対応する手法は適正な維持管理とは言い難く、維持管理経費のさらなる負担増は、町財政の圧迫の要因となりかねない。技術専門職人員の確保や専門部署の設置が困難であるのであれば、施設の統廃合や在り方、民間活力の活用等を見据えるなど、全庁的な課題として議論を加速すべきであると考える。	
７年度の実施による	削減額	千円　　うち一般財源　　千円	
	増収額	千円　　うち一般財源　　千円	
	新たな支出額	千円　　うち一般財源　　千円	

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和7年度中の進行管理チェック票

推進部署	
企画財政課	企画政策係 （内線　231　）

項目番号	19	実施項目	若手職員プロジェクトチームの活性化
7年度計画の内容		・政策立案に関する研修を１回以上実施。 ・活動終了時に報告書を作成する。 【政策提案数２件以上】	
7年度の取り組み内容と評価、分析		第3期若手職員プロジェクトチームにおいて、政策立案能力の向上を目的として2班体制で提案活動を行った。今年度は「EBPM（証拠に基づく政策立案）」の手法を取り入れた提案とするため、愛媛大学教授を講師として招聘し、報告書作成に至るまで計7回の直接指導を受けた。2月には理事者・管理職に向けた報告会を実施し、目標であった2件の政策提案を達成した。	
		該当する箇所に〇をつけてください。 ⓐ　計画どおりに実施　　b　やや遅れ気味　　c　未着手	
		bまたはｃの理由	
推進部署の課長の所見		7年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 昨年度時点では計画に対し遅れが見られたが、本年度は遅れを挽回し、計画通りに報告会まで完了することができた。専門家の指導を仰ぎながらEBPMを用いた実践的な提案活動を行ったことで、政策立案経験のなかった若手職員の能力向上に大きく寄与した。	
7年度の実施による	削減額	千円　うち一般財源	千円
	増収額	千円　うち一般財源	千円
	新たな支出額	168千円　うち一般財源	168千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和7年度中の進行管理チェック票

推進部署	
企画財政課	企画政策係 （内線　231　）

項目番号	20	実施項目	証拠に基づく政策立案（EBPM）の推進
7年度計画の内容		・EBPM に関する職員研修を1 回以上実施。 ・洗い出しを行った政策、成果指標等について、検討結果に基づき見直しを行う。 ・成果指標等が存在しない定性的な効果検証を行っている事業（効果測定が困難な事業）について、ヒアリングやアンケート等の実施を検討し、事業の効果測定の方法を定める。	
7年度の取り組み内容と評価、分析		第3期プロジェクトチームのメンバーを対象に、EBPMの実践に向けた勉強会を計８回実施した。メンバーへの事前アンケートでは「政策立案経験なし」が全員を占めていたが、政策立案報告会後の事後アンケートでは、参加者から「自身の政策立案能力の向上を実感できた」との回答が得られ、定性的な効果検証においても成果が確認できた。	
		該当する箇所に〇をつけてください。 a　〇　計画どおりに実施　　b　やや遅れ気味　　c　未着手	
		bまたはｃの理由	
推進部署の課長の所見		7年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 対象となった若手職員は、通常業務の習熟に時間を要し、自発的に政策形成を学び経験する機会が限られている段階にある。そのため、令和5年度からの進捗の遅れを取り戻し、今回の取り組みを通じてEBPMの一連のプロセスを体系的に学び、実践の場で活用したことは、次世代を担う職員の政策立案能力の底上げに直結する非常に有意義なものであったと評価する。	
7年度の実施による	削減額	千円　うち一般財源　千円	
	増収額	千円　うち一般財源　千円	
	新たな支出額	168千円　うち一般財源　168千円	

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和７年度中の進行管理チェック票

推進部署	
商工観光課	砥部焼観光係 （内線261）

項目番号	21	実施項目	各種観光施設の在り方の検討
７年度計画の内容		検討事項について実施する。	
７年度の取り組み内容と評価、分析		各施設について今後の在り方について検討を実施。 【砥部焼伝統産業会館】 ・指定管理の導入及び施設改修について検討を行った。 【砥部町陶芸創作館】 ・絵付け体験等については民間でも行っているものの、「出張絵付け」については、民間では対応しきれていないことから町営での運営を行う。あわせて伝統産業会館へ機能移転を検討した。 【砥部町とべの館】 ・現状では、収支も良好であることから、町営での運営を行う。 【砥部町峡の館・砥部町交流ふるさと研修の宿・砥部町農村工芸体験館】 ・令和７年度～令和11年度末まで指定管理業者が運営。	
		該当する箇所に○をつけてください。 （a） 計画どおりに実施　　b　やや遅れ気味　　c　未着手	
		ｂまたはｃの理由	
推進部署の課長の所見		７年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 計画どおり進捗している。 砥部焼伝統産業会館については、今後、施設の改修を行い陶芸創作館と統合することを検討している。 その他の施設についても、状況を見ながら、民間への売却も含めて施設の在り方を引き続き検討する。	
７年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源　千円
	増収額	千円	うち一般財源　千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源　千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和７年度中の進行管理チェック票

推進部署	
保険健康課	医療保険係（内線　513） 健康増進係（内線　601）

項目番号	22	実施項目	特定健診受診率の向上
７年度計画の内容		特定健診の未受診者対策を積極的に行い、受診率の向上を図ることにより、病気等の早期発見・早期治療に繋げ、重症化を防ぐことで国民健康保険被保険者の健康増進及び国保運営における医療費の適正化に努める。 【法定報告特定健診対象者】2,891人 【受診率目標】50.0%	
７年度の取り組み内容と評価、分析		○問診票の事前記入をお願いし、30分毎の完全予約制とすることで、スムーズに健診が受けられる環境を整えた。 ○特定健診とがん検診の同時受診者に対して、がん（胃、肺、大腸、乳、子宮）検診を1つ無料とした。そのうち、前年度国保加入者と、前年度特定健診受診者に対しては2つ無料とした。 ○会計年度任用職員や委託業者による電話勧奨を792人／年、実施した。 ○ナッジ理論やAIを活用した受診勧奨ハガキを5回／年、5362通／年、送付した。 ○町内商工会と連携し、必要な方へ特定健診受診券を送付した。 ○庁舎ロビーや保健センター玄関、年金係窓口へ特定健診案内ののぼりやポスター、健診ガイドを設置した。 【特定健診受診率：R8年5月現在】38.0%	
		該当する箇所に○をつけてください。 a　計画どおりに実施　　ⓑ　やや遅れ気味　　c　未着手	
		bまたはcの理由 令和5年度は健診の案内方法を変更したこともあり、受診率が落ち込んだが、R6年度は37.4%まで上昇、R7年度は現時点で前年度の受診率を上回る状況である。しかしながら、目標としている受診率にはここ数年及ばない状況が続いている。	
推進部署の課長の所見		７年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 令和５年度から郵送での案内を中止したため、５年度の受診率は34.7%と低迷したが、担当を中心とした勧奨や周知努力により、昨年度最終受診率は37.4%、今年度は現時点で38%と目標には届かないが、課内職員全員で受診勧奨に努めている。 ちなみに県内市町国保の平均受診率は36.1%で、今でも郵送での案内をしている市町が多い中、本町は健闘していると評価する。 R7年度の目標受診率50%は、最終的に国の目標受診率60%に向けて設定した目標であるが、県内市町で達成している市町国保はない。今年度は、現在実施している受診率向上施策はもちろん、みんなで知恵を絞ってさらなる受診率の向上に努める。	
７年度の実施による	削減額	千円　　うち一般財源　　千円	
	増収額	千円　　うち一般財源　　千円	
	新たな支出額	千円　　うち一般財源　　千円	

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和7年度中の進行管理チェック票

推進部署	
企画財政課	情報化推進係 （内線231）

項目番号	23	実施項目	ペーパーレス化の推進
7年度計画の内容		・ノートパソコンへの転換 【印刷枚数の削減率 20%減】	
7年度の取り組み内容と評価、分析		・行政内部のペーパーレス化を進めるため、「行政内部事務におけるペーパーレス化アクションプログラム」を策定し、「紙を生み出さない」及び「紙を最小限にする」の２つを基本理念に掲げ、各種取組を実施した。また、「電子決裁・電子保存システムの導入」に係る方針も併せて定め、システム導入を検討したが、令和7年度の導入には至らなかったが令和8年度に導入することが決定している。 ・現在使用している業務用パソコンについては、順次（3年目）、ノートパソコンに転換しており、約半数の職員が会議資料等を電子データで容易に持ち運びができる体制の整備が出来ている状況となっている。 【印刷枚数の削減率：実績約20.7%増】 Ｒ６　326,495枚→ Ｒ７　391,810枚	
		該当する箇所に〇をつけてください。 ａ　計画どおりに実施　　ⓑ　やや遅れ気味　　ｃ　未着手	
		ｂまたはｃの理由 令和７年度に導入予定だった、電子決裁・電子保存システムが導入できなかったため。また、R6年度までは年々紙の使用量が減少傾向であったが、R7は、大幅に使用量が増加した。ペーパーレス化アクションプログラムを策定しているものの、まだまだ、紙文化の意識が抜けきれない状況にあることが要因であると考えられるので、この要因を取り除くためには、職員の意識の変革は重要となるため、継続的に、アクションプログラムにて各課が取り組むと決めた事項の進捗を管理しながら、意識の変革（アナログとデジタルの両立）できるよう周知等を行う必要がある。	
推進部署の課長の所見		７年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 紙文化が、DXの推進を図るうえで支障となることから、今後もペーパーレス化の推進を図れるよう、関係課と協力をして推進すること。 また、やや導入が遅れているものの、令和8年度に電子決裁・電子保存システムの導入が決定しているので、関係課と協力しながら、導入するとともに、窓口ＤＸとの関連を持たせ、推進して行くこと。	
7年度の実施による	削減額	千円　うち一般財源　千円	
	増収額	千円　うち一般財源　千円	
	新たな支出額	千円　うち一般財源　千円	

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和７年度中の進行管理チェック票

推進部署	
上下水道課	水道管理係 （内線　561　）

項目番号	24	実施項目	水道事業の業務効率化
７年度計画の内容		他市町との共同発注実施に向けた「部材調達業務」の調査検討、業務実施 【目標経常収支比率】107％	
７年度の取り組み内容と評価、分析		令和５年度の担当者会において、他市町との共同発注については、財政規模や使用部材の違いからメリットが見出せず見送ることとなったが、町単独での経営努力により目標経常収支比率上回る実績となった。これにより、本来の目的である事業の効率化と収支改善を達成している。 【令和７年度経常収支比率】１１１％	
		該当する箇所に〇をつけてください。 ⓐ 計画どおりに実施　　b　やや遅れ気味　　c　未着手	
		bまたはｃの理由	
推進部署の課長の所見		７年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 他市町との共同発注実施は、課題も多く実現は困難であることが分かった。物価高騰の影響は大きいが、町単独での経営努力を継続していく必要がある。	
７年度の実施による	削減額	０千円	うち一般財源　　千円
	増収額	０千円	うち一般財源　　千円
	新たな支出額	０千円	うち一般財源　　千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和７年度中の進行管理チェック票

推進部署	
地域振興課	ふるさと創生係 （内線　251　）

項目番号	25	実施項目	ふるさと納税の推進
７年度計画の内容		返礼品開拓、業務効率化の検討を行い、寄附額1.2億円を目指す。	
７年度の取り組み内容と評価、分析		返礼品開拓として、委託業者と連携しながら、商品数を12品追加した（砥部焼深鉢、地酒と砥部焼セットなど）。 ふるさと納税ポータルサイトを１社（JALふるさと納税）の追加や、ふるさとチョイスのパートナーサイト５社（マルイ、ケアネット、まいふる、ふるさと納税デパート、ニフティ）及び一休.comふるさと納税に付帯するサイト１社（Yahoo!トラベル）への掲載も追加し、ポータルサイトへの掲載は合わせて21社となった。 また、スラックやスプレッドシートの導入により、委託業者との連絡や資料共有がスムーズに行われ、業務の効率化が図られた。 これらの取り組みにより、令和７年度の寄附額は142,058千円であった。（令和６年度138,050千円、昨対比103%）	
		該当する箇所に〇をつけてください。 ａ（〇）計画どおりに実施　　ｂ　やや遅れ気味　　ｃ　未着手	
		ｂまたはｃの理由	
推進部署の課長の所見		７年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 ふるさと納税による寄附金は、本町における貴重な自主財源である。引き続き、安定的な寄附金の確保に向けて、魅力ある町の返礼品開拓に取り組むとともに、地場産業の振興を図る。	
７年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源　千円
	増収額	1,027千円	うち一般財源　千円
	新たな支出額	402千円	うち一般財源　千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和７年度中の進行管理チェック票

推進部署	
企画財政課	契約資産係 （内線：232）

項目番号	26	実施項目	普通財産の貸付、売却
７年度計画の内容		・普通財産等のうち売却や利活用ができそうな物件があれば売却・貸付を実施する。 ・ＨＰで紹介するなどPR 活動を実施する。 【数値目標：貸付件数19 件、売却件数1 件】	
７年度の取り組み内容と評価、分析		R7.11月に県内外の企業関係者など30人が参加し、町内の遊休施設を視察する「ToBeバスツアー」を実施した。JA跡地や高市小学校、こぶし食堂などの遊休施設を巡り、現状の課題・利活用の可能性について意見交換を行った。　※引き続き、財産状況の確認を行う。 ※売却（利活用）物件・貸付契約件数・・・22件（長期20件・短期2件） ・宮内保育所（R5廃園）→R7利活用（R7.12月から有償貸与） ・麻生幼稚園（R5廃園）→R7利活用（現在、売却に向けて協議中）	
		該当する箇所に〇をつけてください。 （a）計画どおりに実施　　b　やや遅れ気味　　c　未着手	
		ｂまたはｃの理由	
推進部署の課長の所見		７年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 計画どおり実施している。引き続き、財源の確保、財産の有効活用のため、町有資産の利活用等について取り組む必要がある。	
７年度の実施による	削減額	千円	うち一般財源　千円
	増収額	千円	うち一般財源　千円
	新たな支出額	千円	うち一般財源　千円

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和７年度中の進行管理チェック票

推進部署	
企画財政課	財政係 （内線232）

項目番号	27	実施項目	円滑な財政運営に向けた基金の積立
７年度計画の内容		・財政調整基金の額を標準財政規模の20%を目標に維持する。 【数値目標：財政調整基金積立額 100,000 千円】 【数値目標：公共施設更新準備基金積立額 10,000 千円】 【数値目標：災害対策基金積立額 10,000 千円】	
７年度の取り組み内容と評価、分析		財政調整基金については、地財法第7条に基づく決算剰余金の1/2の積立を令和6年度分について行ったほか、預金利息分の積立を行った。 公共施設更新準備基金及び災害対策基金については、預金利息分のみの積立となった。 ※左から順に、積立、取崩、現在高 財政調整基金　　：325,490千円、500,000千円、1,097,845千円 公共施設更新準備基金：122千円、0千円、43,111千円 災害対策基金　　：211千円、0千円、74,358千円	
		該当する箇所に〇をつけてください。 a ○ 計画どおりに実施　　b　やや遅れ気味　　c　未着手	
		bまたはｃの理由	
推進部署の課長の所見		７年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 財政調整基金の取崩が積立を上回ったため積立額は減少したが、一般会計決算では実質単年度収支が4年ぶり（コロナ禍を除くと9年ぶり）に黒字化（+42,762千円）するなど、赤字体質からの脱却の一歩となった。 当該財政余剰を含め、令和8年度には一定程度の積み増し（積立＞取崩）が可能な見込みである。引き続き歳入確保・歳出縮減に取り組み、持続可能な財政運営体制の確立を目指す。 ※7年度標準財政規模：6,111,562千円 上記20%：1,222,312千円（7年度末現在高1,097,845千円）	
７年度の実施による	削減額	千円　　うち一般財源　　千円	
	増収額	千円　　うち一般財源　　千円	
	新たな支出額	千円　　うち一般財源　　千円	

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。

令和7年度中の進行管理チェック票

推進部署	
企画財政課	企画政策係 （内線　231　）

項目番号	28	実施項目	使用料・手数料・入館料等の見直し
7年度計画の内容		・基本方針に基づき、使用料・手数料・入館料の妥当性について各課で検討 ・検討内容の結果について調査・取りまとめを実施 ・減免について見直しを行うか最終的な判断を実施	
7年度の取り組み内容と評価、分析		これまでの原価計算や各課ヒアリングに基づく調査結果を踏まえ、全体的な料金見直しに向けた取りまとめを行った。令和８年１０月より新料金が開始する予定。また、減免措置に係る見直しについては、手数料・使用料の見直しと並行して実態調査を進めており、現状調査は完了している。この調査をもとに、減免の見直しに係る方向性を策定し、令和8年度に見直しを図ることとする。	
		該当する箇所に〇をつけてください。 ⓐ 計画どおりに実施　　b　やや遅れ気味　　c　未着手	
		bまたはｃの理由	
推進部署の課長の所見		7年度計画の進捗に対する所見を書いて下さい。 使用料・手数料・入館料等の基本的な見直し及び減免等の見直しについては当初の計画通り順調に進捗していると思われる。なお、減免等の見直しについては、現状、画一的な基準が設けられていないことから、令和8年度中に基準を策定し、当該基準に沿った、公平な減免となるよう見直しを進めること。	
7年度の実施による	削減額	千円　　うち一般財源　　千円	
	増収額	千円　　うち一般財源　　千円	
	新たな支出額	千円　　うち一般財源　　千円	

※ このチェック票は、「行財政改革推進委員会」に報告し、評価していただきます。